

# ものづくり連携支援事業 プロジェクトPRレポート

管理機関名：公益財団法人福島県産業振興センター

## プロジェクト名

### 県内企業の廃炉・除染事業参入

事業の背景（地域・産業の特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

東日本大震災とこれに伴う東京電力福島第一原子力発電所(1F)事故により、福島県内企業は大きく被災し、移転、風評被害による受注の大幅減少、操業停止、倒産等を余儀なくされ、雇用も喪失している。

一方、1Fは廃止が決定され、東京電力や大手プラントメーカー等により1～4号機の廃炉作業が行われている。廃炉には、30～40年の期間と原子炉一基あたり800億円の費用を要すると言われている。

このような中、福島県では、これら県内被災企業の雇用の回復のため、廃炉・除染事業への参入を目的に、福島県ハイテクプラザ所長を会長として「福島県廃炉・除染ロボット技術研究会」を平成25年6月に設立した。

国においても、「イノベーション・コースト構想」が平成26年6月に取りまとめられ、廃炉や災害対応ロボット技術などによる産業振興が計画されている。本研究会は、この構想を追い風ととらえ、県内企業が廃炉・除染事業への参入ができるよう目指していく。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

本事業において、会員内でグループを形成し、本事業終了後にはロボット等の共同開発実施体制や、廃炉・除染事業に参入するための共同受注体制を構築し、イノベーション・コースト構想による国の事業と連携しながら県内企業の廃炉・除染事業への参入を目指す。

本事業により、今後更なる加速が必要とされる廃炉・除染事業に県内企業が参入することにより、国が進める本県浜通り地域の新産業の創出に連動した地域の産業振興の実現性が高まるとともに、国家的課題である廃炉・除染の加速が期待できる。

## 連携・グループ化の目的・期待効果

### From（現状）

- ・東日本大震災・原発事故による雇用喪失
- ・廃炉・除染事業への、地元企業参入の高い障壁
- ・廃炉・除染事業のニーズ情報の不足
- ・現研究会における技術的および取引支援の専門家の不在
- ・イノベーション・コースト構想等による産業振興のチャンス

### To（ありたい姿）

1. 東京電力や大手プラントメーカー等とのタイアップが実現。
2. 県内中小企業連携体が廃炉・除染分野で明確な役割を担っている。
3. それらの活動が、地域経済の活性化へ貢献している。

## この事業実現のためのキーファクター

本事業におけるキーファクター（目標達成のために注力するポイント）は、

STEP1: 廃炉措置における東京電力や関連企業からのニーズ収集と目標の具体化。

STEP2: ニーズ実現のための中小企業連携体制の早期構築と開発スピード。

## コンソーシアム又はグループの構成

### ●福島県廃炉・除染ロボット技術研究会

福島県内の中小製造業を中心に、115社（平成26年11月現在）から構成される研究会である。各企業とも、機械加工、ロボットや各種自動機的设计製造、プラント設備製造、情報通信、組込み、素材・材料、各種装置设计製造など、それぞれ高い技術を有する。

例えば、ロボットの製造を行う会員企業は、これまで消防関連機関にレスキューロボットを納入した実績を有する。また、火力発電プラントの設備などを手掛けた会員もある。情報通信においても、多岐にわたるシステム開発を手掛けている企業がある。

いずれの企業も、廃炉・除染事業への参入に対する強い意欲を有する。

このほか、ロボット関連の研究開発を行っている福島大学、会津大学、日本大学工学部、福島高等等の県内学術機関や、各種産業支援機関も参画している。

本事業では、（公財）福島県産業振興センターを管理機関、福島県ハイテクプラザを事務局とし、これら研究会会員の有するリソースを活用して、県内企業の廃炉・除染事業への参入を目指す。

### ●連携コーディネーター

機関名・氏名：株式会社パスコ 福島業務部長兼福島事務所長 小林純一氏  
株式会社パスコ 福島業務部 参事 片寄久巳氏

専門分野等：原子力

役割：

株式会社パスコは、JAEA（（独）日本原子力研究開発機構）のOB等からなる、原子力分野のコンサルタント等を行う企業である。連携コーディネーターは、両者とも、長年にわたり原子力分野での業務に携わってきており、この業界における知見と幅広いネットワークを有する。

本事業においては、主として東京電力や大手プラントメーカー等川下企業の廃炉措置におけるニーズを調査するとともに、これに基づいたマッチングを企画する。

## コンソーシアムの決意表明

福島県廃炉・除染ロボット技術研究会では、県内企業の廃炉・除染事業への参入を目指します。